



**ENVIPRO**  
エンビプロ・ホールディングス

# 2023年6月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社エンビプロ・ホールディングス  
(証券コード : 5698)

2022年11月11日

# 目次

## 1. 第1四半期 決算概要

---

## 2. 2023年6月期 見通し

## 3. 参考資料

## 連結業績

売上高	11,174百万円	(前年同期比	21.8%減)
営業利益	388百万円	(前年同期比	51.2%減)
経常利益	569百万円	(前年同期比	38.2%減)
四半期純利益*	373百万円	(前年同期比	43.9%減)

## 主要TOPICS

- 中国の景気減速、欧州のエネルギー危機、サプライチェーン混乱の継続等により世界的に鋼材需要は減退
- 鉄スクラップ平均価格（東京製鐵田原海上特級価格）は46,532円と、前年同期の49,461円を下回って推移  
期首54,000円から7月末41,500円まで下落し、8月末から上昇傾向となり9月末49,000円まで回復
- コバルト、ニッケル、銅価格については前年同期を上回って推移
- 当期8月後半以降、荷動きの悪さによる需給引き締めりや、急激な円安の進展等により資源価格が上昇
- 新工場建設が進捗
  - ・ 資源循環事業の新工場建屋が9月に竣工（静岡県富士市、2023年2月稼働予定）
  - ・ リチウムイオン電池リサイクル事業の新工場にて電極板リサイクルラインが7月に先行稼働（静岡県富士市）

\*四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益  
（金額、数量は切り捨て表示；％は四捨五入表示）

# 決算概要▶第1四半期 連結損益計算書概要



(単位：百万円)

	2022年6月期 第1四半期	2023年6月期 第1四半期		
	実績	実績	前年同期比	
			増減額	増減率
取扱量（千t）	188	<b>141</b>	▲46	▲24.6%
売上高	14,292	<b>11,174</b>	▲3,118	▲21.8%
売上総利益	2,600	<b>2,125</b>	▲475	▲18.3%
営業利益	795	<b>388</b>	▲406	▲51.2%
経常利益	921	<b>569</b>	▲351	▲38.2%
税金等調整前四半期純利益	926	<b>582</b>	▲344	▲37.2%
四半期純利益*	666	<b>373</b>	▲292	▲43.9%
限界利益*	2,269	<b>2,095</b>	▲173	▲7.7%
EBITDA*	962	<b>574</b>	▲388	▲40.4%
純粹固定費*	1,474	<b>1,619</b>	145	9.8%

\*四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

\*限界利益＝売上高－変動費

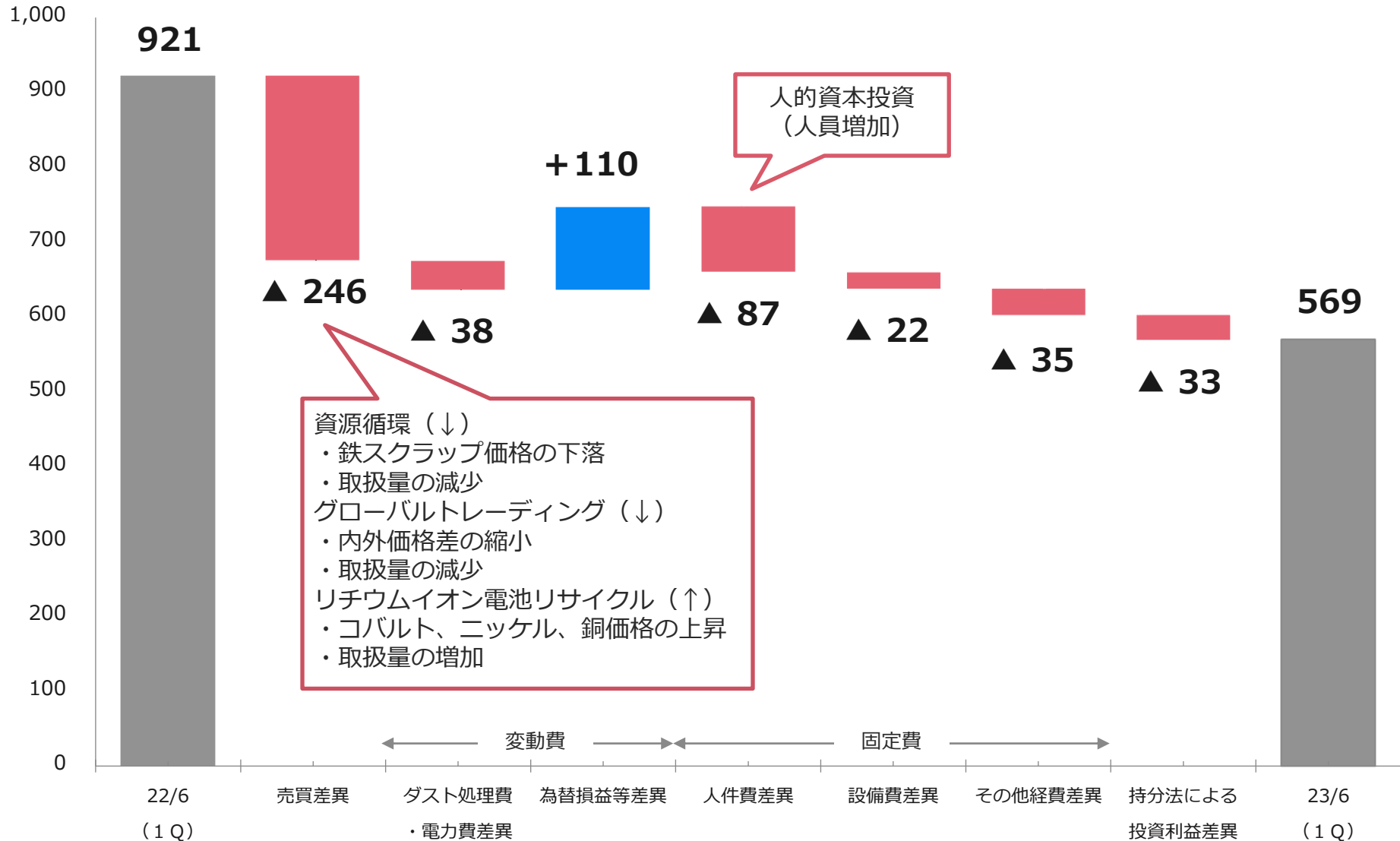
\*EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却

\*純粹固定費＝【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】－【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】

# 決算概要 ▶ 連結経常利益差異分析（前年同期比）



(単位：百万円)



# 決算概要▶セグメント別業績概要



(単位：百万円)

売上高	2022年6月期 第1四半期	2023年6月期 第1四半期			
	実績	実績	前年同期比		構成比
			増減額	増減率	
連結	14,292	<b>11,174</b>	▲3,118	▲21.8%	100.0%
資源循環事業	4,762	<b>4,179</b>	▲582	▲12.2%	33.4%
グローバルトレーディング事業	11,109	<b>7,872</b>	▲3,237	▲29.1%	62.9%
リチウムイオン電池リサイクル事業	147	<b>326</b>	179	122.3%	2.6%
その他	127	<b>135</b>	7	6.1%	1.1%
調整額	▲1,853	<b>▲1,340</b>	513	-	-

セグメント利益	2022年6月期 第1四半期	2023年6月期 第1四半期			
	実績	実績	前年同期比		構成比
			増減額	増減率	
連結	921	<b>569</b>	▲351	▲38.2%	100.0%
資源循環事業	685	<b>364</b>	▲320	▲46.8%	53.8%
グローバルトレーディング事業	302	<b>156</b>	▲145	▲48.0%	23.2%
リチウムイオン電池リサイクル事業	18	<b>104</b>	85	452.6%	15.5%
その他	45	<b>50</b>	5	11.4%	7.5%
調整額	▲130	<b>▲107</b>	23	-	-

# 決算概要▶セグメント別業績概要



(単位：百万円)

		2022年6月期 第1四半期	2023年6月期 第1四半期			
		実績	実績	前年同期比		構成比
				増減額	増減率	
資源循環事業	売上高	4,762	<b>4,179</b>	▲582	▲12.2%	33.4%
	セグメント利益	685	<b>364</b>	▲320	▲46.8%	53.8%
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 金属スクラップ価格の急落による在庫販売分の利幅の縮小</li> <li>■ 主力工場の大型シュレッダーの1か月程度の故障停止による取扱量の減少（復旧済）</li> <li>■ 広域の片付け解体工事の受注増加</li> <li>■ 新工場建設が進捗（静岡県富士市、9月竣工、2023年2月稼働予定）</li> </ul>					
グローバル トレーディング事業	売上高	11,109	<b>7,872</b>	▲3,237	▲29.1%	62.9%
	セグメント利益	302	<b>156</b>	▲145	▲48.0%	23.2%
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 鉄スクラップの海外需要の減退に対し、国内電炉の粗鋼生産が安定して推移</li> <li>■ 国内高海外安の展開により内外価格差が縮小</li> <li>■ 急激な円安の進展により為替差益が収益に貢献</li> <li>■ 輸送用コンテナ不足等の緩和による海上運賃の下落</li> </ul>					

# 決算概要▶セグメント別業績概要



(単位：百万円)

		2022年6月期 第1四半期	2023年6月期 第1四半期			
		実績	実績	前年同期比		構成比
				増減額	増減率	
リチウムイオン電池 リサイクル事業	売上高	147	<b>326</b>	179	122.3%	2.6%
	セグメント利益	18	<b>104</b>	85	452.6%	15.5%
				<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 円安等の影響により、コバルト、ニッケル、銅の平均価格は前年同期を上回って推移</li> <li>■ レアメタルの需要増加による販売条件（収益性）の向上</li> <li>■ 大手電池メーカーからの工程端材等の取扱量の増加、ブラックマス*等の出荷量増加</li> <li>■ 新工場において、電極板リサイクルラインが7月に先行稼働（静岡県富士市）</li> </ul>		
その他	売上高	127	<b>135</b>	7	6.1%	1.1%
	セグメント利益	45	<b>50</b>	5	11.4%	7.5%
				<p>《環境経営コンサルティング事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ CDP評価向上支援、TCFD対応支援等のカーボンニュートラル及びサーキュラーエコノミー関連コンサルティングの継続受注</li> </ul> <p>《障がい福祉サービス事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 長野エリアに新たな事業所を開設し、農福連携による新たなサービスの開始</li> </ul>		

\*ブラックマス：カーボンが含有されているコバルト、ニッケル、リチウムの濃縮滓

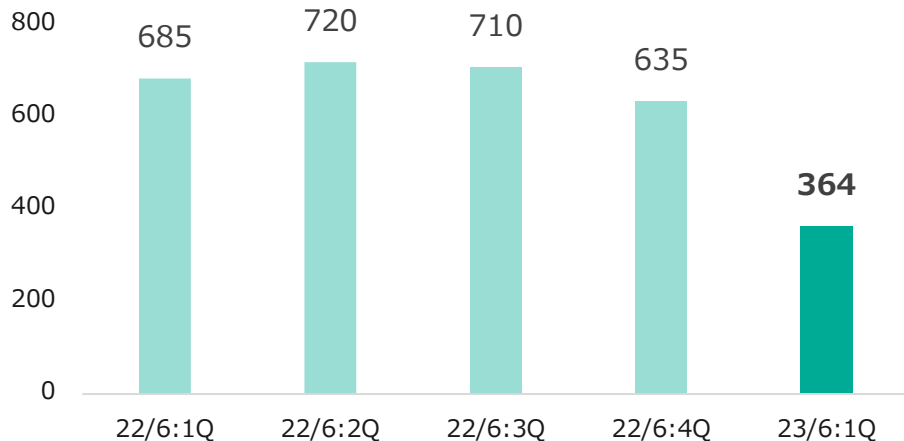


# 決算概要▶セグメント利益四半期推移

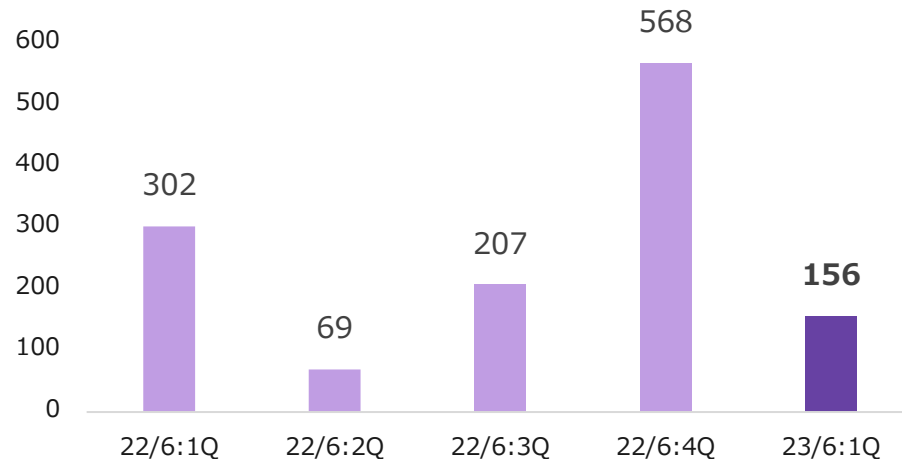


(単位：百万円)

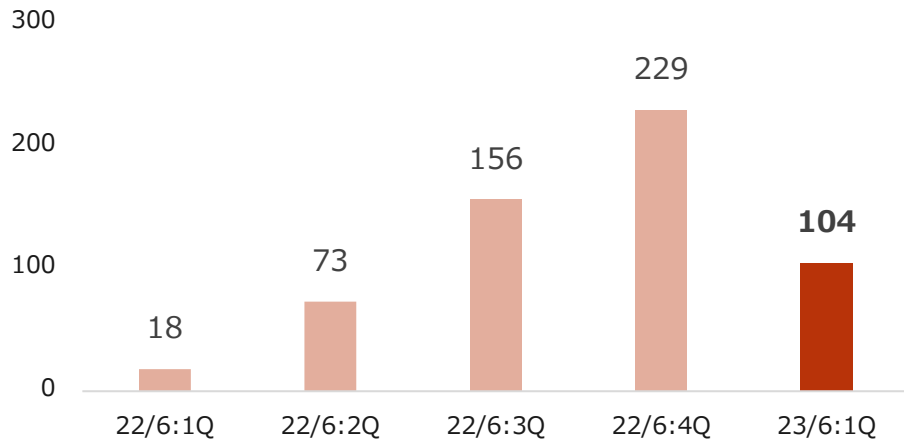
### 資源循環事業



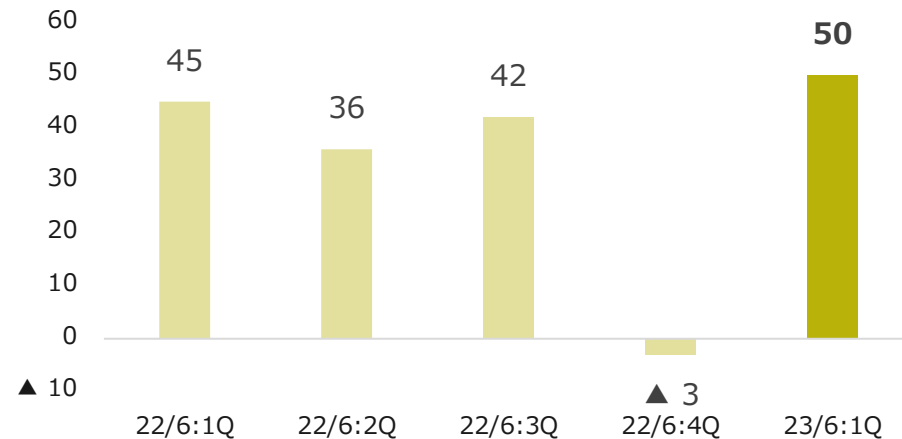
### グローバルトレーディング事業



### リチウムイオン電池リサイクル事業



### その他



# 決算概要▶ 連結貸借対照表概要



(単位：百万円)

	2022年 6月末	2022年 9月末	増減額		2022年 6月末	2022年 9月末	増減額
流動資産	18,448	<b>16,330</b>	▲2,117	流動負債	9,968	<b>8,719</b>	▲1,248
固定資産	10,515	<b>11,028</b>	513	固定負債	2,776	<b>2,753</b>	▲22
（有形固定資産）	7,161	<b>7,613</b>	452	<b>負債合計</b>	12,744	<b>11,473</b>	▲1,270
（無形固定資産）	96	<b>101</b>	5	純資産	16,219	<b>15,885</b>	▲333
（投資その他の資産）	3,257	<b>3,313</b>	56	（自己資本）	15,808	<b>15,459</b>	▲349
<b>資産合計</b>	28,963	<b>27,359</b>	▲1,604	<b>負債純資産合計</b>	28,963	<b>27,359</b>	▲1,604

## 主要TOPICS（前期末比）

- 流動資産（その他流動資産238百万円、商品及び製品125百万円、現金及び預金▲1,445百万円、受取手形及び売掛金▲1,018百万円）
- 固定資産（建物及び構築物807百万円、機械装置及び運搬具111百万円、投資有価証券90百万円、建設仮勘定▲481百万円）
- 流動負債（その他流動負債524百万円、賞与引当金148百万円、短期借入金▲1,290百万円、未払法人税等▲571百万円）
- 固定負債（リース債務38百万円、長期借入金▲66百万円）
- 自己資本比率 56.5%（2022年6月末 54.6%）

# 目次

1. 第1四半期 決算概要

**2. 2023年6月期 見通し**

---

3. 参考資料

## 連結業績予想

売上高	55,000百万円	(前期比	4.0%減)
営業利益	2,500百万円	(前期比	25.2%減)
経常利益	2,900百万円	(前期比	30.4%減)
当期純利益*	2,030百万円	(前期比	34.7%減)

## 業績予想の前提条件

鉄スクラップ	電気銅	金	銀	ニッケル	コバルト	為替
45,000円/ t	1,050円/kg	7,000円/g	85,000円/kg	2,650円/kg	7,000円/kg	125円/USD

## 主要TOPICS

- 資源価格及び為替の前提条件は、足元の相場に基づき予想
- 景気動向は不透明ながらも脱炭素に向けた動きの中で、リサイクル原料への需要は一層高まるものと予想
- 金銀滓\*回収量の増加、処理能力の増強
- 広域の解体・片付け案件の取り組み強化
- 輸出・輸入・三国間貿易と集荷ヤードの拡大
- リチウムイオン電池リサイクル事業の既存工場拡張、湿式製錬事業の調査推進
- 企業理念の浸透、環境整備、安全管理、人的資本への積極的な投資等による内部体制強化

\*当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

\*金銀滓：金、銀、銅、プラチナ、パラジウムの混合物

# 見通し▶2023年6月期 連結業績



(単位：百万円)

	2022年6月期	2023年6月期				
	実績	予想	前期比		第1四半期	
			増減額	増減率	実績	進捗率
取扱量(千t)	706	<b>800</b>	93	13.2%	<b>141</b>	17.7%
売上高	57,319	<b>55,000</b>	▲2,319	▲4.0%	<b>11,174</b>	20.3%
売上総利益	10,628	<b>10,180</b>	▲448	▲4.2%	<b>2,125</b>	20.9%
営業利益	3,343	<b>2,500</b>	▲843	▲25.2%	<b>388</b>	15.5%
経常利益	4,166	<b>2,900</b>	▲1,266	▲30.4%	<b>569</b>	19.6%
税金等調整前当期純利益	4,176	<b>2,855</b>	▲1,321	▲31.6%	<b>582</b>	20.4%
当期純利益*	3,111	<b>2,030</b>	▲1,081	▲34.7%	<b>373</b>	18.4%
限界利益*	9,968	<b>9,670</b>	▲298	▲3.0%	<b>2,095</b>	21.7%
EBITDA*	4,042	<b>3,467</b>	▲575	▲14.2%	<b>574</b>	16.6%
純粋固定費*	6,325	<b>7,138</b>	813	12.9%	<b>1,619</b>	22.7%
ROE	21.6%	<b>12.3%</b>	▲9.3%	▲43.0%	—	—

\*当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

\*限界利益 = 売上高 - 変動費

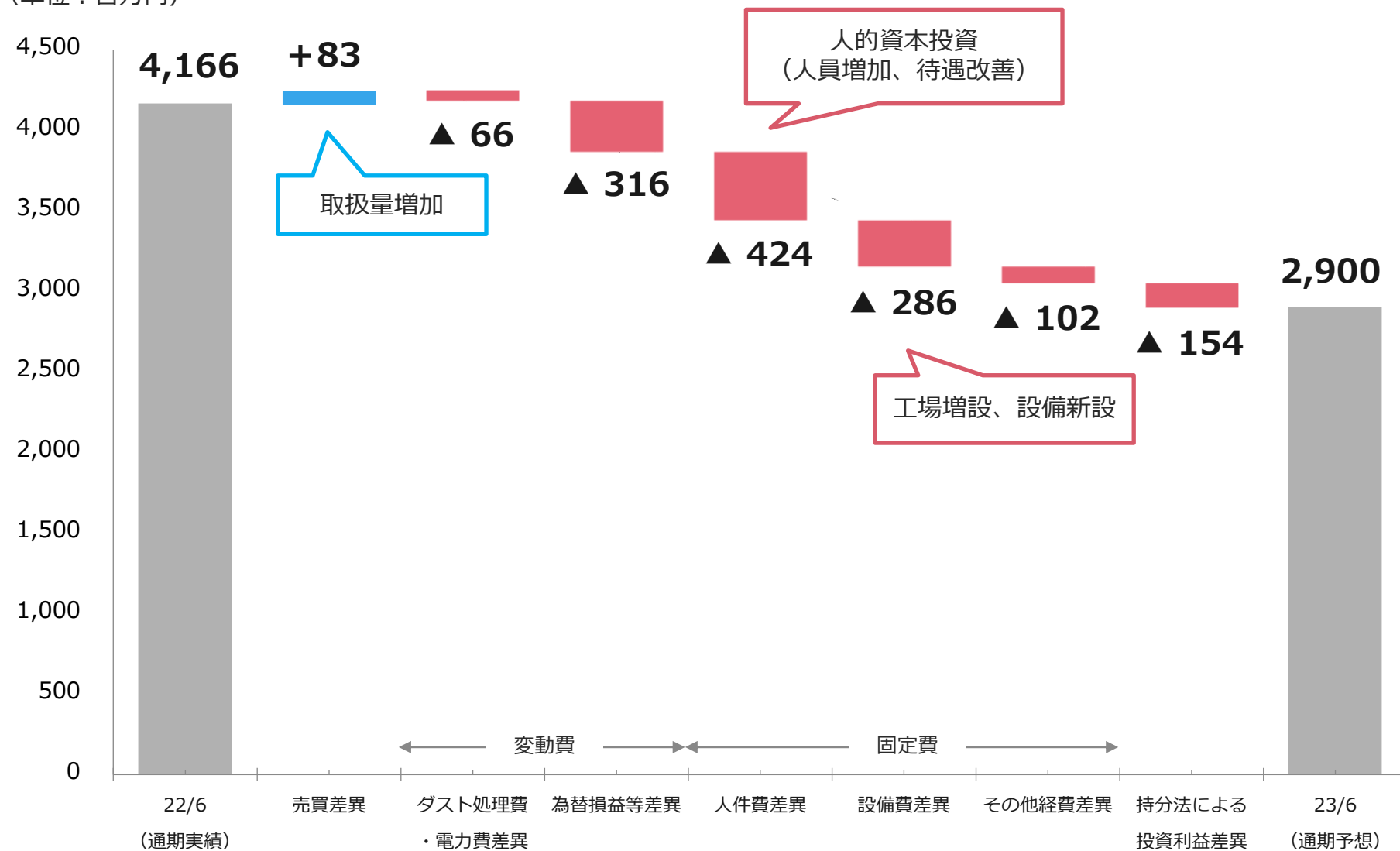
\*EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却

\*純粋固定費 = 【売上原価・販管費・営業外費用の固定費相当分】 - 【為替差益・持分利益を除いた営業外収益分】

# 見通し▶連結経常利益差異分析（前期比）

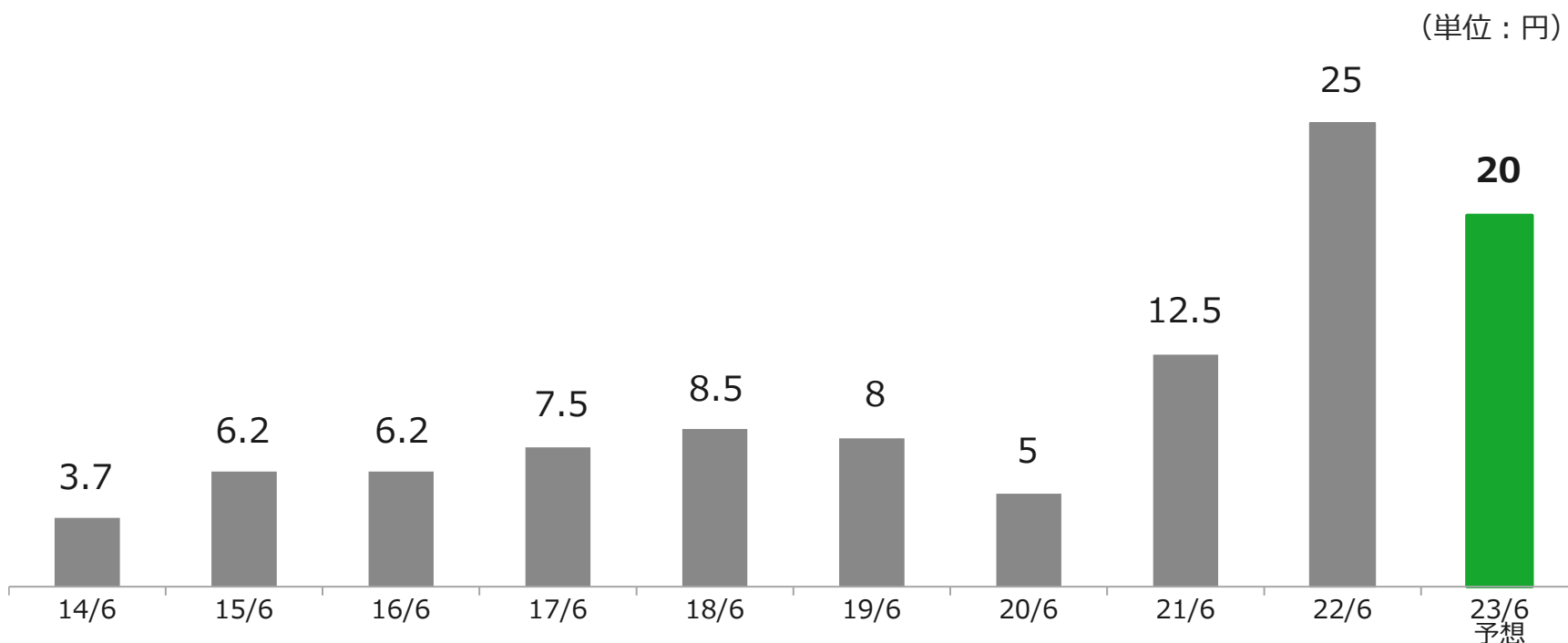


(単位：百万円)



## 当社の配当基本方針

- 内部留保等を総合的に勘案しながら長期的な視野に立ち、安定的かつ継続的な利益還元を行うことを基本方針とする。
- 業績連動利益配分の指標として連結配当性向 20～30%を目標とする。
- 連結配当性向に基づく配当金が年間 5円を下回る場合にも、年間 5円の安定配当を目指す。



\*2018年1月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を実施。  
 2022年4月20日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の株式分割を実施。  
 1株当たり配当金は2014年6月期以前から上記の株式分割が行われたと仮定して算定しています。

# 目次

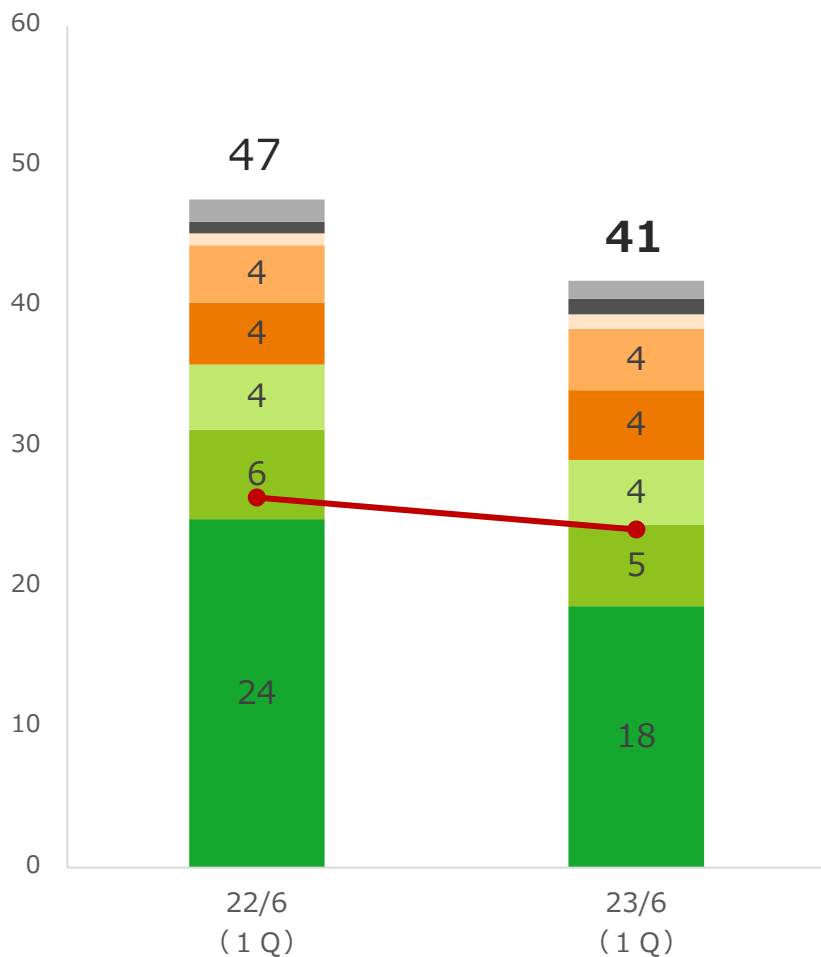
1. 第1四半期 決算概要
  2. 2023年6月期 見通し
  - 3. 参考資料**
-



## 資源循環事業 品種別売上高・合計取扱量

- 鉄
- 非鉄金属
- 逆有償
- ゴム製品
- 金銀滓
- 解体・片付け等
- RPF,製紙原料等
- その他
- 取扱量

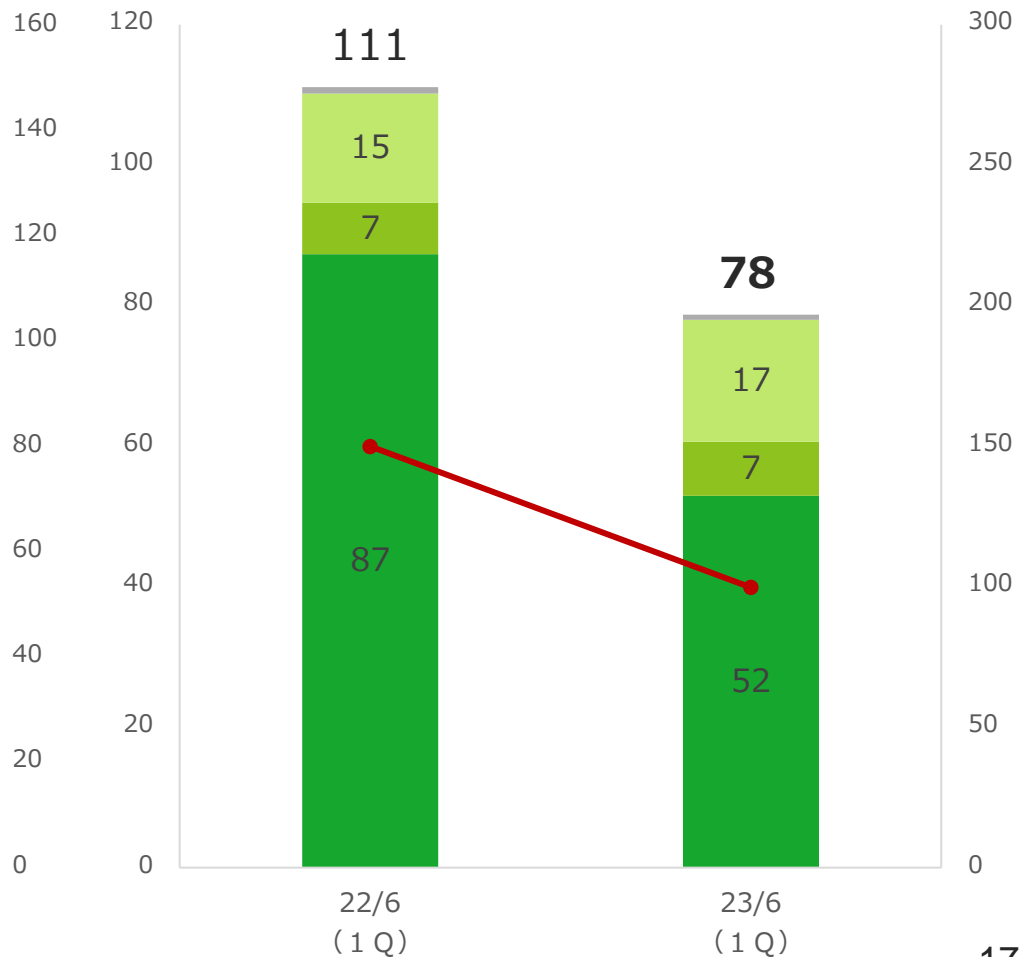
(単位：億円)



## グローバルトレーディング事業 品種別売上高・合計取扱量

- 鉄
- 非鉄金属
- 中古自動車
- その他
- 取扱量

(単位：億円)



**品種別取扱量**

(単位：千 t)

品目	2022年 6月期 第1四半期	2023年 6月期 第1四半期	前年同期比
鉄	164	<b>113</b>	▲30.9%
非鉄金属	4	<b>4</b>	16.1%
金銀滓※	0.9	<b>0.8</b>	▲0.4%
ゴム製品	2	<b>3</b>	17.0%
RPF等燃料、製紙原料等	13	<b>13</b>	▲0.4%
ブラックマス等※	0.2	<b>0.2</b>	10.5%
その他	4	<b>5</b>	13.0%
合計	188	<b>141</b>	▲24.6%

(単位：k g)

品目	2022年 6月期 第1四半期	2023年 6月期 第1四半期	前年同期比
金回収量	15	<b>13</b>	▲14.7%
銀回収量	305	<b>252</b>	▲17.3%

**地域別売上高**

(単位：億円)

地域	2022年 6月期 第1四半期	2023年 6月期 第1四半期	前年同期比	
日本	65	<b>55</b>	▲16.0%	
東アジア	韓国	41	<b>19</b>	▲52.3%
	台湾	0	<b>1</b>	640.8%
	その他	2	<b>4</b>	69.5%
	東南アジア	ベトナム	22	<b>17</b>
	その他	3	<b>6</b>	80.1%
南アジア	インド他	1	<b>0</b>	▲99.2%
西アジア	UAE他	1	<b>1</b>	26.0%
南米	チリ他	2	<b>2</b>	11.1%
アフリカ	ケニア他	0	<b>0</b>	▲63.9%
その他	—	0	<b>1</b>	446.1%
合計	142	<b>111</b>	▲21.8%	

※金銀滓：金、銀、銅、プラチナ、パラジウムの混合物

※ブラックマス：カーボンが含有されているコバルト、ニッケル、リチウムの濃縮滓

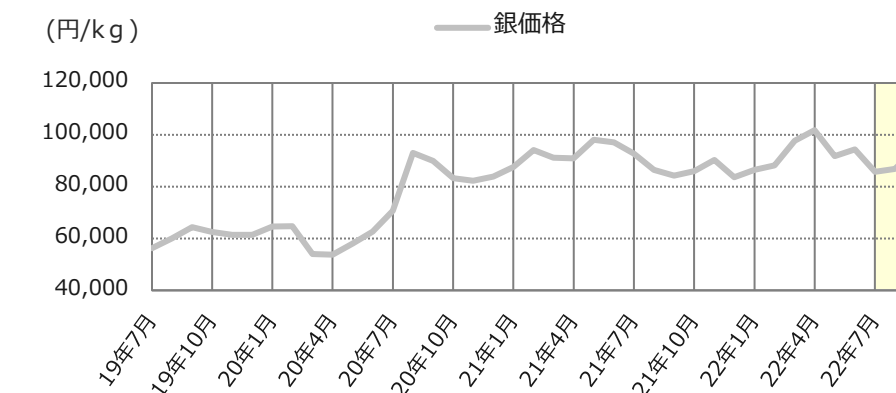
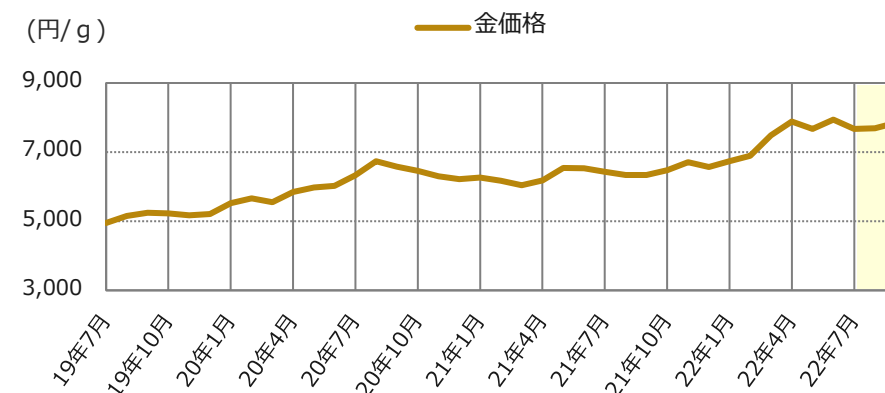
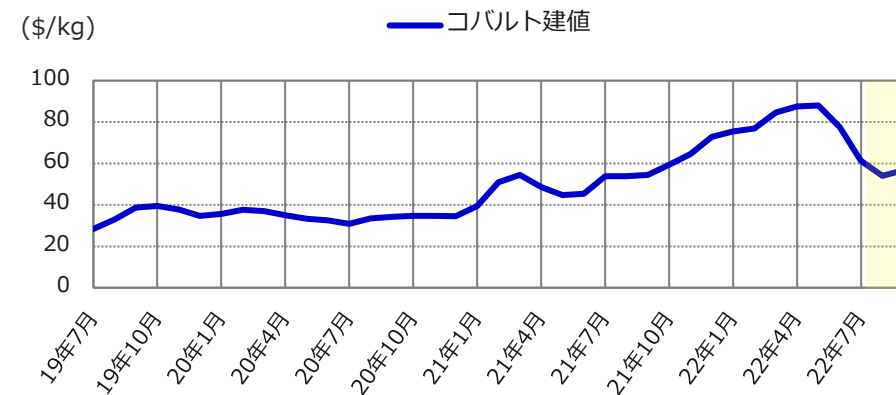
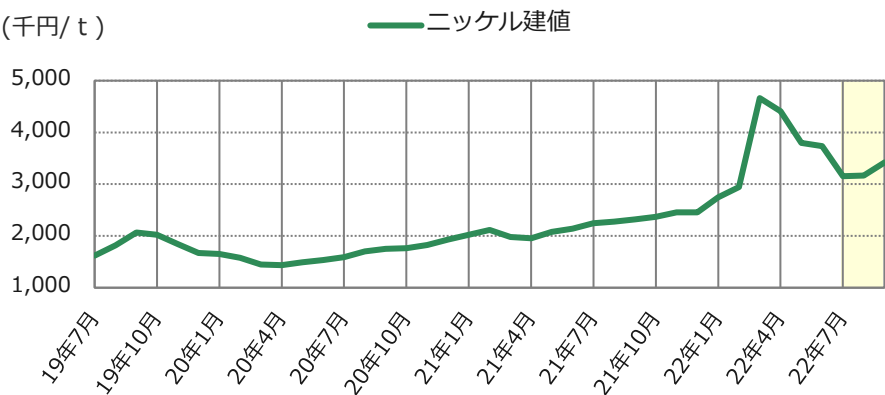
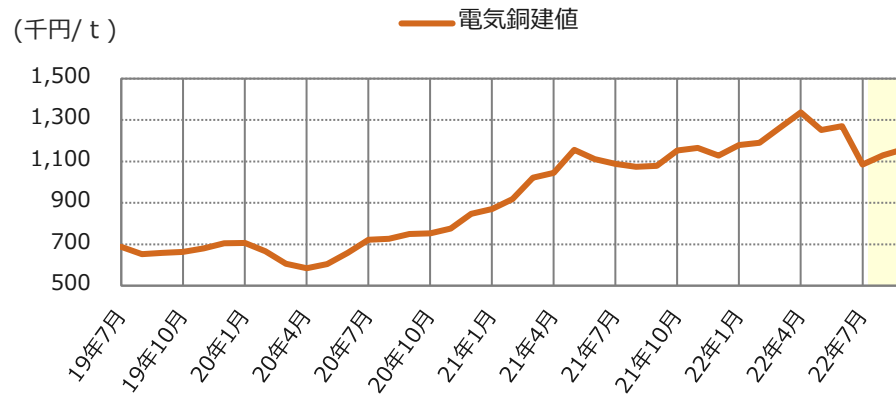
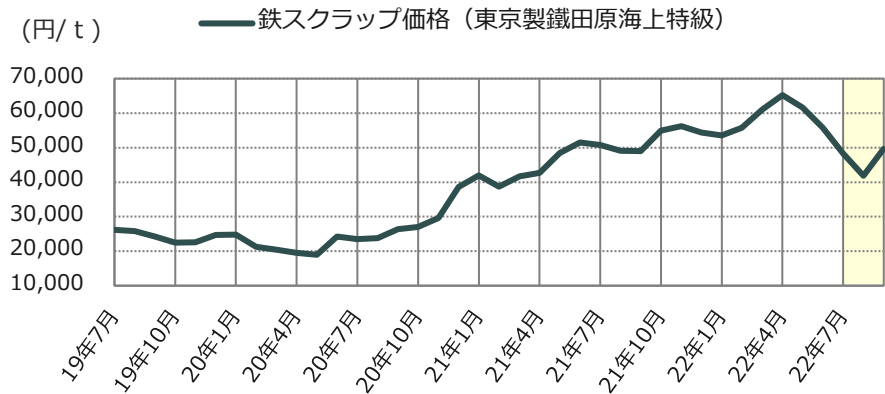
# 参考資料▶セグメント別四半期業績推移



(単位：百万円)

セグメント	2022年6月期						2023年6月期		
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	通期	構成比	1 Q	構成比	
資源循環事業	売上高	4,762	5,129	5,130	5,374	20,397	31.3%	<b>4,179</b>	33.4%
	経常利益	685	720	710	635	2,752	61.2%	<b>364</b>	53.8%
	経常利益率	14.4%	14.0%	13.9%	11.8%	13.5%	—	<b>8.7%</b>	—
グローバル トレーディング事業	売上高	11,109	9,123	9,743	13,012	42,989	65.9%	<b>7,872</b>	62.9%
	経常利益	302	69	207	568	1,147	25.5%	<b>156</b>	23.2%
	経常利益率	2.7%	0.8%	2.1%	4.4%	2.7%	—	<b>2.0%</b>	—
リチウムイオン電池 リサイクル事業	売上高	147	229	409	561	1,347	2.1%	<b>326</b>	2.6%
	経常利益	18	73	156	229	478	10.6%	<b>104</b>	15.5%
	経常利益率	12.9%	32.2%	38.3%	40.8%	35.5%	—	<b>32.0%</b>	—
その他	売上高	127	116	123	75	443	0.7%	<b>135</b>	1.1%
	経常利益	45	36	42	▲3	120	2.7%	<b>50</b>	7.5%
	経常利益率	35.9%	30.9%	34.5%	▲4.6%	27.3%	—	<b>37.7%</b>	—
調整額	売上高	▲1,853	▲1,649	▲2,034	▲2,320	▲7,857	—	<b>▲1,340</b>	—
	経常利益	▲130	▲60	▲110	▲30	▲332	—	<b>▲107</b>	—
	経常利益率	—	—	—	—	—	—	—	—
連結	売上高	14,292	12,950	13,372	16,703	57,319	100.0%	<b>11,174</b>	100.0%
	経常利益	921	838	1,007	1,399	4,166	100.0%	<b>569</b>	100.0%
	経常利益率	6.4%	6.5%	7.5%	8.4%	7.3%	—	<b>5.1%</b>	—

※セグメント利益は経常利益で記載をしております。

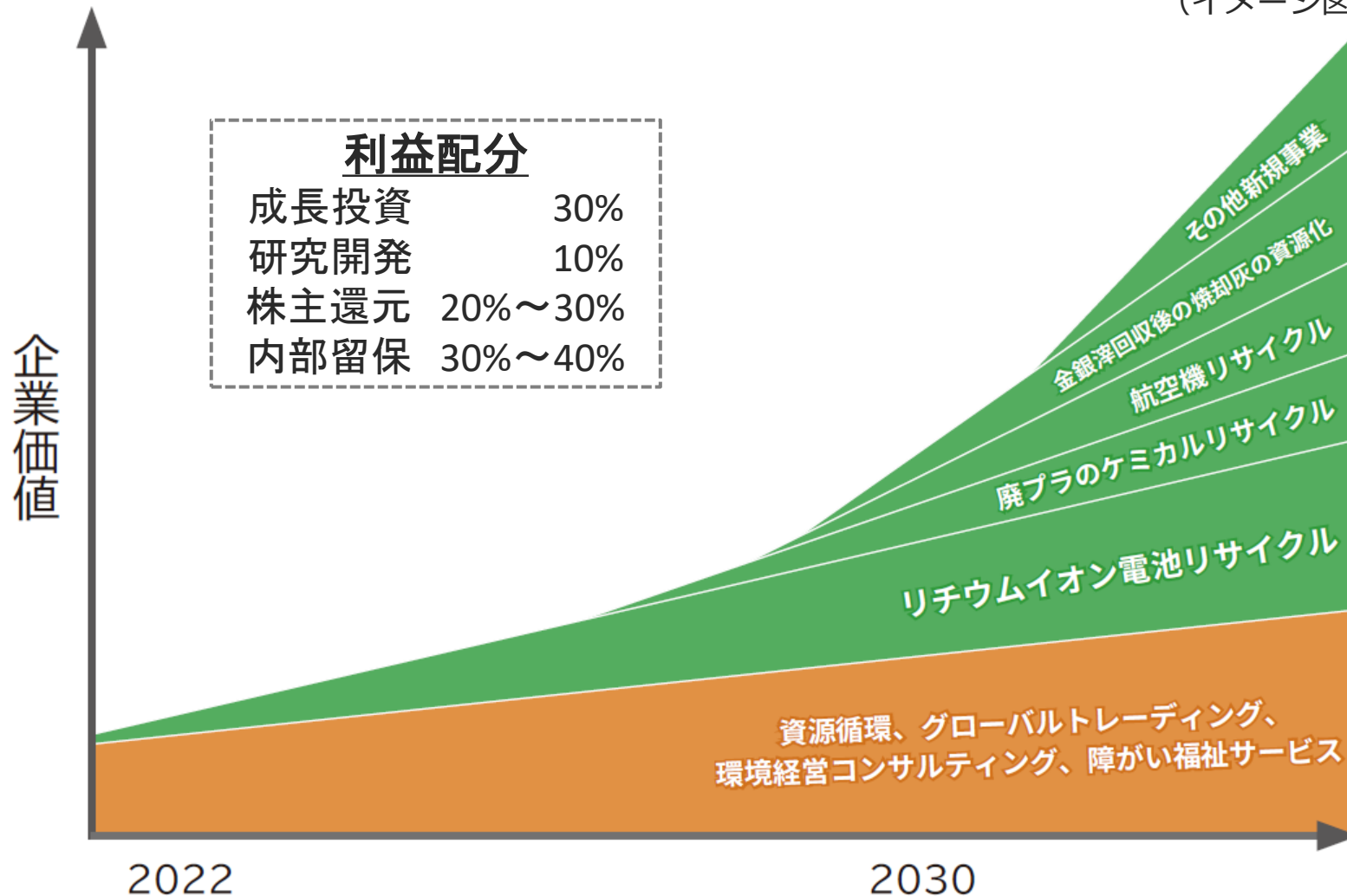


（出所）東京製鐵(株)、日刊産業新聞

（出所）J X 金属(株)、IRuniverse(株)

既存事業の深化または撤退、新規事業の積極的投資により、  
事業ポートフォリオを最適化する

(イメージ図)



## 本資料に関する注意事項

本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社エンビプロ・ホールディングスの現状を理解していただくために作成したものです。

本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。



---

本資料及びIRに関するお問い合わせ先

---

株式会社エンビプロ・ホールディングス  
経営企画部

TEL (0544) 21-3160

URL <https://www.envipro.jp/>